

過疎地域における暮らしの潤い確保対策事業

山口県山口市

概要

○生活支援関連産業創出事業

地域拠点を中心とした持続可能な買い物支援、農産物・加工品販路拡大及び交流促進の検討

○スモールビジネス地域活性化事業

地元事業者や地域団体と連携した地域資源の掘り起こしと高付加価値化の検討

○移住・交流促進事業

都会の若者の短期受入を通じた地域における移住・交流の受け皿づくり



事業の内容

事業内容

- 直売所を拠点とした食料品・日用品配達サービスの実証実験準備【CATV事業者、市内スーパーと連携】
- 「カワラケツメイ」等の植物資源の洗い出し、新商品開発（健康茶）及び漢方薬等としての活用検討
- 食品乾燥加工による新商品開発（干し芋、ゆず茶）と人材育成【市内乾燥機メーカーと連携】
- 伐採した竹の粉碎化・乳酸発酵による肥料開発と「山口あぶトマト」の品質向上検討
- 地域ぐるみでの未収穫（放置）ゆずの出荷に向けた収穫実験及びゆず木のGISマップ化
- ゆず木の剪定・栽培講習会と苗木配布によるゆずの産地化育成【JA、ゆず加工事業者と連携】
- 短期農山村体験プログラム（4泊5日）と緑のふるさと協力隊（1年間）の受入【NPO法人地球緑化センター主催】

ポイント

生産地としての農山村（過疎地域）と消費地としての都市部が併存する本市の特性を活かし、新しい手法により日常の生活機能を確保するとともに、農林業といった各種経済活動を都市部へ結びつける交流産業の構築を目指す。

事業の成果

- 生活実態調査を行い、住民のニーズを確認できた。今後は、日用品配送等ネットワークを生かした高齢者の生活支援サービスの強化や、地域（経済）の活性化につながる仕組みを検証していく。
- 特産品を活用した新商品のブラッシュアップを行うとともに、生産から販売までの仕組みを整備することができた。
- 短期受入地域を含め、平成23年度に緑のふるさと協力隊を2名受け入れ、地域活動を支える人材を育成する。